



だんかつら
ルカくん。スコティッシュフォールドの男の子、2歳。甘っちょろい。抱っこが大好き。かっちょいいおふしはもって好き。寝てる顔は笑っているみたい。藤沢市善行 赤尾さん

ペットの写真募集
掲載後、その写真をカレンダーにして進呈します。
●歌壇・俳壇の投稿
ハガキ1枚に3首(句)まで。住所・氏名・☎を明記(歌壇・俳壇は作品と同じ面に)。1面題字下住所の鎌倉朝日へ。
洋画・日本画・版画ほか一件
美術品の買取
致します
〒224-4081
〒224-4081



お知らせ
●ギャラリー「翠堂」
五光堂 魅惑の彩磁器展 22
藤本岳英・江里子展 12月
2日
2月
5日

お知らせ
●北鎌倉・台場の緑をのこす
▽山の手入れ12月16日10時、山ノ内配水池脇。
▽山歩き17日9時、山ノ内公会堂。北鎌倉の景観を後世に伝える基金 ☎090・6502・2470
●おもちゃ病院鎌倉ドクター募集
こわれたおもちゃを無料で修理するボランティア。御成・笹田に加え、来年4月から大船保育園で開催。実習期間を経てドクターに。月1回、10〜15時。見学随時。大嶋 ☎090・8885・1119

みる

▼特別展「映画監督・是枝裕和のまなざし」
1月14日まで川喜多映画記念館。これまでの軌跡を振り返り、映画界の現在と未来に向けてのまなざしを追う。400円、鎌倉市民無料。
【関連上映】「そして父になる」12月5〜8日10時半、6〜9日14時、「万引き家族」7・10日10時半、5・8日14時、「エール・スール」6・9日10時半、7・10日14時。各時半、小学生500円。千円、中学生500円。
▼特別展「中世寺院の書物―聖教とのかたち―」
12月1日〜1月21日 県立金沢文庫。中世の寺院で書写・印刷された本のかたちを注目の「子ども夢パーク」を取り上げた映画上映後、し、国宝「称名寺聖教」を紹介。600円。☎045・701・9069
▼企画展「春を待つ―清方が描いた新春―」
12月2日〜1月8日 鎌倉市生涯学習センター。市内在住の在学者。無料。鎌倉市生涯学習センター ☎090・9964・3070
▼「うまれる」シリーズ 2作品上映会
12月9日あーすぷら kama-kikan.com
▼なんみん映画会 2023〜パレスチナで何が起きているのか
12月8日18時、鎌倉生涯学習センター。「ぼくたちは見た―ガザ・サムニ家の子どもたち―」上映後古居みずえ監督トーク。無料。アルペななんみんセンター ☎55・5422
▼十二月に語る平和「飯館村・ペマの母ちゃん」それぞれの選択」上映会
12月9日13時、鎌倉倉庫

美術館・文学館めぐり

県立近代美術館 葉山 ☎046・875・2800	100年前の未来 移動するモダニズム 1920-1930	「近代」の文化が多様に展開した20年代を再考	~1/28 1200円
県立近代美術館 鎌倉 ☎22・5000	イメージと記号 1960年代の美術を読みなおす	美術制度が問われた1960年代の時代の断面を検証	12/9~2/12 700円
鎌倉国宝館 ☎22・0753	国府津山宝金剛寺一密教美術の宝庫	仏像、中世の多彩な仏画などの寺宝を展示	~12/3 700円
鎌倉清方記念美術館 ☎23・6405	春を待つ―清方が描いた新春	清方が新春の風情に取材した作品や口絵を紹介	12/2~1/8 300円
鎌倉市川喜多映画記念館 ☎23・2500	映画監督・是枝裕和のまなざし	監督のこれまでの軌跡とそのまなざしを追った特別展	~1/14 400円
鎌倉歴史文化交流館 ☎73・8501	高野山金剛三昧院―鎌倉殿を弔った寺院の軌跡―	金剛三昧院の宝物を一堂に集めた史上初の展覧会	~12/2 400円
鎌倉文華館 鶴岡ミュージアム ☎55・9030	鶴岡八幡宮の季節展 冬	刀剣や錦絵の他、源実朝公に焦点を当てた展示	12/15~3/3 600円
観音ミュージアム ☎22・6100	長谷寺紅葉図屏風	長谷寺の紅葉を元に制作された珠玉の作品の数々	~12/18 300円
北鎌倉葉祥明美術館 ☎24・4860	心に寄りそう身近な絵本展 By 葉祥明	葉祥明作品の中から身近な心に寄り添う絵本を紹介	~12/8 600円
県立金沢文庫 ☎045・701・9069	中世寺院の書物―聖教とのかたち	中世寺院の本のかたちの面に注目し国宝「称名寺聖教」を紹介	12/1~1/21 600円
藤澤浮世絵館 ☎0466・33・0111	なぜか忠臣蔵 藤沢のヒーロー小栗判官と江戸歌舞伎	忠臣蔵の魅力とともに藤沢の地域性にも注目する展示	~12/17 無料
藤沢市アートスペース ☎0466・30・1816	Artists in FAS 2023 入選アーティストによる成果発表展	入選アーティスト4名が7月から行った滞在制作の成果を発表	~1/14 無料
遊行寺宝物館 ☎0466・22・2063	徳川と遊行寺	本邦初公開「三河平井記」初め徳川家由緒の資料公開	~12/18 600円
山口蓬春記念館 ☎046・875・6094	山口蓬春と吉田五十八	同時代を生きた蓬春と五十八の交流の軌跡を辿る	12/2~1/28 600円
横須賀美術館 ☎046・845・1211	とどろきの国絵本 躍動する韓国イラストレーションの世界	現代韓国の絵本の世界を代表する9人の作家の作品を紹介	~12/24 1300円
平塚市博物館 ☎0463・33・5111	天象儀(プラネタリウム) 100年の軌跡	誕生から100年になるプラネタリウムの歩みを紹介	~1/18 無料
神奈川近代文学館 ☎045・622・6666	没後50年 大佛次郎展―戦後の仕事	戦後作品を中心に大佛の透徹した歴史認識と批評精神を紹介	12/2~1/21 260円
大佛次郎記念館 ☎045・622・5002	大佛次郎と木村荘八 一作家と画家、そして猫	木村の挿絵原画の他「無類のネコ好き」の二人の交流を紹介	12/16~4/14 200円
神奈川県立歴史博物館 ☎045・201・0926	あしがらの古文書 矢倉沢村田家文書 後期	江戸時代前期の大災害による被害状況を記した資料を展示	12/6~1/31 300円
そごう美術館 ☎045・465・5515	111年目の中原淳一展	生誕111周年を記念した中原淳一の多彩な作品を紹介	~1/10 1400円
茅ヶ崎市博物館 ☎045・252・8661	令和5年度かながわの遺産 跡展「華ひらく律令の世界」	時代を彩った出土品からわかる「かながわ」の古代社会	12/16~1/24 無料

▼没後50年大佛次郎展―戦後の仕事
12月2日〜1月21日、神奈川近代文学館。戦後の作品を中心に約百点の資料で構成し、大佛の透徹した歴史認識と批評精神を紹介。260円。☎045・622・6666
▼Velvet Knot Doll Exhibition 2023「非日常に満ちた日帯」
12月4日まで(一日休館)旧足立邸。非公開の建築遺産の洋館を公開し、アンティークで構成された空間での10数名の作家による人形展。千円。https://velvet-knot-square.site/
▼「ゆめバのじかん」上映会&クrostーク
12月3日13時半、鎌倉市福祉センター。川崎市の「子ども夢パーク」を取り上げた映画上映後、鎌倉市教委・高橋洋平教育長らのトーク。市内在住の在学者。無料。鎌倉市生涯学習センター ☎090・9964・3070
▼「うまれる」シリーズ 2作品上映会
12月9日あーすぷら kama-kikan.com
▼なんみん映画会 2023〜パレスチナで何が起きているのか
12月8日18時、鎌倉生涯学習センター。「ぼくたちは見た―ガザ・サムニ家の子どもたち―」上映後古居みずえ監督トーク。無料。アルペななんみんセンター ☎55・5422
▼十二月に語る平和「飯館村・ペマの母ちゃん」それぞれの選択」上映会
12月9日13時、鎌倉倉庫

絵で伝えよう！わたしの町

「東京物語」&濱口竜介「味」&岩下志麻トーク。各千五百円、セット券2千五百円。鎌倉芸術館 ☎0120・1192・40
▼「ユタヤの家紋と蔵書展」
12月9日あーすぷら
12月16〜24日北鎌倉ギャラリー1月(山ノ内207)。蔵書票は、本の見返し部分に貼って、その本の持ち主を明らかにするための小紙片。ギャラリー青騎士所蔵の蔵書票に描かれた暗号とシボルから、ユタヤ文明を考察する。無料。☎22・2913

第18回鎌倉芸術祭

つむぐ音の和〜チェコ音楽の魅力〜をペトロフとともに Vol.3
12月2・3日14時、カノンハウス鎌倉。4500円。☎080・6786・9199
かさぎ画廊50周年記念展 BEYOND JAPAN
12月7〜15日鎌倉パークホテル。無料。かさぎ画廊 ☎090・5568・8226
二人展「ジャポニスム〜雅なる日本・かわいいJapan」
12月15〜17日長谷別邸。小林鉄斎・能伊親子の写真展。無料。☎090・1549・2576
グローリア少年合唱団第32回メサイア演奏会
12月26日17時カトリック雪ノ下教会。3000円。グローリア少年合唱団 ☎045・825・0522

第8回かまぐら民活動フェスティバル

12月23日13時半〜17時 鎌倉生涯学習センターと神谷悠生さんのピアノ
12月24日14時、鎌倉婦女子会館ホール。小川恭子さんのヴァイオリン
12月24日14時、鎌倉婦女子会館ホール。小川恭子さんのヴァイオリン

第25回かまぐら市民活動フェスティバル

12月2・3日10〜16時、鎌倉生涯学習センター。展示発表式、かまぐらファンド報告会、鎌倉FM特別イベント、鎌倉市市民活動センター。13時シボルジウム。無料。鎌倉市民活動センター ☎60・4555

鎌倉朝日歌壇

木村 雅子 選
一色海岸の渚に屈んで手を置けば寄せる波は海を語り触れることで実感した「海」。擬人化が効いている。城畑 塩田 文字
肋骨折るわれを訪なふ孫たちはよそ行きでその名を告ぐる。葉山町 近藤美知子
お見舞いに改まる気持ち「よそ行き」によく出た。宇宙では一点の星の星の江の島に立ち夕日に染まる片瀬 中村 喬
視点の変化が鮮やか。大きく、絞りに、また広がる。外灯のスポットライトに少年ら競い合ったりフレイクダンス。藤沢市 三浦 和子
音声もリズムも変えてビジュビジュビジュ四十雀二羽会話を。返子市 湊 美根子
朝咲いて夕べ散りゆく花に明日開く蕾のありて暮れゆく。藤沢市 青木寿美子
つつがなく陽のあるうちに帰らなむ大船観音片類あかり。藤沢市 玉縄 杉山ますゑ
年毎に秋が短くなりてゆく四季が三季に季語を感ず。返子市 木村 勲
中禅寺山門の紅きくさばはまた月青く澄む。城畑 見山れい子
参加人数日付 天氣に富士山もラジオ体操係は記録す。返子市 望月 和子
ほどほどに美味しく食べてよく笑ひ万歩果たして夢路に遊ぶ。二階堂 鎌田 澄子

鎌倉朝日俳壇

星野 高士 選
夕暮れの坂は海風秋あかね。腰越 松原 薫
場面の展開が意表をついていた。夕暮れと秋あかねは同系色だが、中七でそれらを抱きつづけていた。藤沢市 三浦 和子
菊花展の模様であるが、下五の表現によつて臨場感が出ている。「も」の助詞も全体をやはらげた。藤沢市 森田 順子
爽やかや伊豆大島も江の島の島も。藤沢市 森田 順子
この季節は難しく、使い方次第では凡句になつてしまふ。この作品は切れ字を使って大きな句になつた。城畑 増田 陽子
行儀良く秋明菊のすつと立ち。正しくこの通り。写真句のフレのなさがうまうま。藤沢市 黒田まるとる
極楽寺一雨ごとに秋深む。藤沢市 黒田まるとる
固有名詞がいかに利用している作品。あの辺りも雨が降れば一気に秋も深まってゆくのである。返子市 塩谷あい子
よはり季節が活きていた。藤沢市 青木寿美子
初もの柿の固さをかみしめて。藤沢市 中村 喬
天をゆるりゆく秋風や旅心。片瀬 塩田 文字
天高しクラス全員リレー果つ。藤沢市 宮城 幸
壇の浦平公達冬のに代に。藤沢市 西尾美智子
お待たせと金木犀が香る庭。返子市 西尾美智子
脚より秋冷迫る山の嶺。返子市 西尾美智子
鎌倉の平家館はよと飛び。返子市 西尾美智子
稲音のひびく五山や秋澄めり。返子市 西尾美智子
しなやかにあるがままと吾亦紅。大船 鳴海 紀政
ふる里ハントネル幾つ紅葉山。大船 鳴海 紀政
虫の音もかほそくなり紅風呂。大船 鳴海 紀政
農を継ぐ友との暫し秋の声。吉田 洋子
勝者なき源平池の政尚。吉田 洋子
秋なれや洪鐘祭稚児歩く。山ノ内 高橋 哲美
寺分 松本 賢悟